【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2007-90859(P2007-90859A)
【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)
【年通号数】公開・登録公報2007-014
【出願番号】特願2006-212079(P2006-212079)
【国際特許分類】
***Ｂ２９Ｃ　43/24　(2006.01)***
***Ｂ２９Ｃ　47/88　(2006.01)***
***Ｇ０２Ｂ　5/02　(2006.01)***
***Ｂ２９Ｃ　59/04　(2006.01)***
*Ｂ２９Ｋ　69/00　(2006.01)*
*Ｂ２９Ｌ　11/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ　43/24
Ｂ２９Ｃ　47/88　Ｚ
Ｇ０２Ｂ　5/02　Ｂ
Ｂ２９Ｃ　59/04　Ｃ
Ｂ２９Ｋ　69:00
Ｂ２９Ｌ　11:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月26日(2007.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
また、本発明に係る他の光学フィルムの製造方法は、押出機に取り付けられたダイスからフィルム状に押し出された溶融状態のポリカーボネート樹脂からなるフィルムを、表面に彫刻形状が設けられ温度設定された成形ロールと、温度設定された弾性ロールとの間に挟んで、彫刻形状をフィルムに転写する工程と、彫刻形状を転写したフィルムを弾性ロール上に巡らせた後、弾性ロールから剥離する工程とを備え、フィルムのガラス転移温度をＴｇとしたとき、成形ロールの表面温度の設定値をＴｇ＋２０℃以上Ｔｇ＋４５℃以下の温度範囲とすると共に、弾性ロールの表面温度の設定値をＴｇ以下とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
本発明の第３の実施形態では、図７に示すように、フィルム１０を弾性ロール１４上に巡らせた後、弾性ロール１４とガイドロール１６との間でフィルム１０を弾性ロール１４から剥離する。ガイドロール１６は、円柱状の形状を有し、その中心軸を回転軸として回転駆動可能に構成されている。ガイドロール１６は、弾性ロール１４に対して一定の距離離間して配置されている。また、ガイドロール１６は、冷却可能に構成されている。具体的には、ガイドロール１６は、その内部に冷却媒体を流すための１または２以上の流路を

有する。冷却媒体としては、水または油が用いられる。